

復帰40年記念

2012年9月28日(金)～  
11月25日(日)

博物館  
特別展

## Okinawa から

# 沖縄へ

モノが語る激動の時代  
1945～2012

「復帰」を広辞苑で調べると「元の状態に戻ること」とあります。沖縄にとって、元の状態とはどういう状態なのでしょう？そもそも沖縄は何から何に復帰したのでしょうか？ウチナーンチュが復帰に求めたものは何だったのでしょうか？今後の沖縄はどのような方向に進むのでしょうか？

当展示会は、特に40代以下の若い世代に、沖縄が日本ではなかった時代のことや、ウチナーンチュが復帰に求めたものを知ってもらい、復帰後の様々な変化を示しつつ、今後の沖縄について考えるきっかけにしてほしいと願って開催します。

瀬長亀次郎氏や屋良朝苗氏に関する資料、日米首脳間で取り交わされた、核の再持込密約に関する資料、オキナワンロック、具志堅用高氏関係、高校野球など、様々なモノ資料を通して激動の時代を振り返ります。

また、今回の展示会では、「あなたの記憶に残る甲子園」と題し、県勢の試合を振り返るコーナーや観覧者のコメントを貼りつけるコーナーもあります。これを機会に、復帰のことやこれからの沖縄について世代を超えた交流が行われることを期待します。

(博物館班学芸員 岸本弘人)



祖国復帰大行進団  
(沖縄県公文書館蔵)



日本復帰式典  
(沖縄タイムス社蔵)



アクアポリス  
(那覇市歴史博物館蔵)



具志堅用高  
チャンピオンベルト  
(具志堅用高記念館蔵)



沖縄尚学 センバツ初優勝  
(沖縄タイムス社蔵)

一般：800円(640円)  
高大学生：300円(240円)  
小中学生：200円(160円)  
※( )内は前売り及び20人以上の団体料金

復帰っ子割引  
復帰の年1972年生まれの方は身分証明書の提示で2割引でご観覧いただけます。

## ふれあい体験室

ハンゾーくん



ふれあい体験室では毎週土曜日、体験キットのことをもっと知ってもらうための“ふれあい体験室ワークショップ”を開催しています。

10月から12月は、ふれたい博士の「小さな琉服づくり」を行います。体験キットNo.21「衣からわかること」は、様々な染織の種類を、それぞれの素材となる糸づくりから、糸を染める染料、織りや染でつくりあげられる布を紹介しています。着衣体験コーナーでは、「琉服」に仕立てられた布の肌触りを体感し、琉装体験を通して、衣ができていくまでの知恵と工夫、「琉服」を着用していた琉球王国時代の衣服を知ることができます。ワークショップでは、実際に着物を仕立てる順番で、布のかわりに千代紙を使い、約8分の1の大きさの「琉服」をつくります。参加すると、ふれたい博士のメモが書かれた、「博士カード」がもらえます。(渡部貴子)



☆ふれあい博士の「小さな琉服づくり」  
日程：10月～12月の毎週土曜日  
※12/29(土)は年末休館  
1回目 10:00 / 2回目 10:45 / 3回目 11:15  
(所要時間 45分)  
対象：5才から大人(小3生以下は大人同伴)  
定員：当日先着30名(各回10名)朝9時より受付  
参加費：100円

美術館  
企画展

## 山田實展

### 人と時の往来

2012年9月11日(火)～11月4日(日)

開催中の山田實展。展示会の第1章冒頭で、一本の樹木の作品を展示している。ポスターなどでも紹介しているこの写真は、ハンタン山の赤木を撮影したものだ。園比屋武御嶽の傍らに立つこの木は、戦争によって立ち枯れていた。電柱として利用された時期もあったのか、よく見ると二つの白い突起が上部に見える。しかし1961年、この枯れ木に若葉が芽吹いた。それもアコウの葉が。芽生えた若葉はどんどんと生い茂り、今ではアコウの木となって、その場所に立っているようだ。

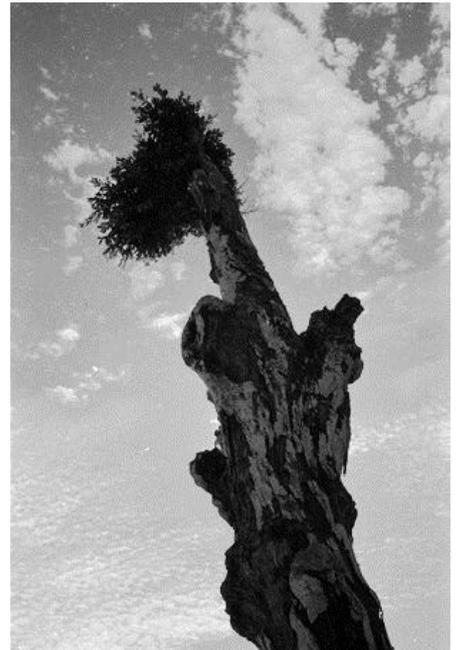
戦後の焼け野が原の中、枯れ木とはいえ凜と立つこの木は、当時の沖縄と重なるシンボルとも言える存在でもあったようだ。その赤木に新しい命が根付き、青々と緑を茂らせていく姿は、復興の象徴、次世代への希望のように人々の瞳に映ったかもしれない。戦後2年間、飢えと酷寒のシベリア抑留の後、変わり果てた郷里へと戻った山田には、この木はどう見えたのだろうか。

萌芽のざわめきを身体の内包み、木は黙して佇んでいる。カラリと晴れた明るい空が、その沈黙の深さを引き立てている。

(美術館 大城仁美)

※「山田 實」展は年間パスポートでご見学できます。

お問い合わせは館内情報センターまで。098-941-1187



「首里 那覇」1963年

一般：800 (640) 円

高大生：500 (400) 円

小中生：300 (240) 円

※ ( ) は前売り及び団体料金。

※70歳以上の方は当日券20%割引。

身分証の提示が必要



ご報告

### 夏休み 博物館 学芸員教室!

博物館では7/25～27、各分野を担当する9人の学芸員が、面白くてためになる、沖縄の自然・歴史・文化に関する教室を開きました。参加した110人の子ども達は普段は聞けない学芸員の話に目を輝かせていました。来年の開催もお楽しみに!(渡部貴子)



### 美術館 夏休み こどもフェスタ!

美術館では、8/18～19に“夏休み子どもフェスタ!”を開催しました。総勢202人の参加者が美術館を舞台に様々なワークショップを行いました。写真は、県民ギャラリーの中庭の窓をキャンバスに海の生物を描いた様子です。とても賑やかな一日となりました。(大濱萌子)





11月イベントカレンダー

3	土	☆本土復帰40周年記念 「Okinawaから沖縄へ」展 関連公演「お笑い本土復帰」 2回公演 (1) 13:00~14:00 (2) 16:00~17:00
3	土	☆美術館コレクションギャラリー1 「現代アジア作家展」 キュレータートーク 講師：大城直也(当館学芸員) 15:00~16:00
4	日	☆ふれあい体験室 ワークショップ ☆「池間・宮古方言教室 秋期」 講師：仲間博之氏 14:00~16:00
5	月	休館日
9	金	県民ギャラリー1・2 家田早苗 OPEN HOUSE 第15回パッチワークキルト展 11/9~11/11
10	土	☆美術館コレクションギャラリー1 「現代アジア作家展」 キュレータートーク 講師：安永幸一氏 15:00~16:00
10	土	☆ふれあい体験室 ワークショップ ☆しまくとぅばプロジェクト 連続講座 第8回 「しまくとぅばを知る」 講師：狩俣繁久氏 14:00~15:50
11	日	☆子供向け工作教室 「身近な素材にふれよう！」 比嘉良徳氏 10:00~12:00 ☆博物館文化講座 「本土復帰前後史」 講師：新城俊昭氏 14:00~16:00
12	月	休館日
13	火	県民ギャラリー1・2 沖縄カイア押し花展 県民ギャラリー3 那覇造形美術学院 一般美術教室作品展 11/13~11/18
15	木	☆展示解説会博物館常設展 講師：藤田祐樹(人類) 14:00~15:00
17	土	☆美術館バックヤードツアー 講師：仲里安広(当館学芸員) 14:00~15:00
19	月	休館日
20	火	県民ギャラリー1・2・3 久高良治 探求9 映像撮影 11/20~11/25
24	土	☆美術館バックヤードツアー 講師：崎原恭子(歴史) 14:00~15:00
24	土	☆美術館コレクションギャラリー1 鑑賞ツアー 16:00~17:00
25	日	☆ふれあい体験室 ワークショップ ☆「池間・宮古方言教室 秋期」 講師：仲間博之氏 14:00~16:00
26	月	休館日
27	火	★本土復帰40周年記念 「アジアをつなぐ-境界を生きる 女たち1984-2012」展 11/27~1/6 県民ギャラリー1 11/27~ 12/2 県民ギャラリー2・3 Photo is art Art is heart展 11/27~12/2

※日程などが変更になる場合がございます。詳しくはホームページのイベントカレンダーをご覧ください。

■ごあいさつ■

2012年11月1日で沖縄県立博物館・美術館は5周年を迎えます。これもひとえに県民の皆様をはじめ御来館者の皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。これからも博物館・美術館の向上に努めてまいります。今後とも沖縄県立博物館・美術館へのご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■総入館者数(9月末現在)：2,292,712人

■博物館・美術館収蔵品数

博物館：90,723件(2012.3.31現在)

美術館：3,263点(2011.3.31現在)

■入館者が多かった展覧会(当館主催・共催に限る)

2008年7月「恐竜ミュージアム2008」 98,489人

2012年7月「お化け屋敷で科学する」 90,050人

2011年7月「印象派の誕生」 42,867人

2007年11月

博物館開館記念展

「人類の旅~港川人の来た道」 39,040人

美術館開館記念展

「沖縄文化の軌跡 1872-2007」 28,393人

2009年4月「いわさきちひろ」展 18,085人

■人気が高かった講演会・シンポジウム

シンポジウム「薩摩の琉球侵略400年を考える」

博物館文化講座 2009年5月9日 540人

※11月1日~4日まで1Fエントランスにて『開館5周年記念パネル展』を開催致します。

✿博物館・美術館からのお知らせ✿

☆11月3日(土)文化の日は、博物館常設展示室・美術館コレクションギャラリーを無料開放致します。この機会にご来館くださいませ。

☆移動博物館・美術館 in 粟国島

日程：11月16日(金)17日(土)

場所：薩島振興総合センター 島あじび館

■編集後記・基本情報

スポーツ・読書・食欲の秋も良いですが、芸術の秋はいかがでしょうか？博物館・美術館では新しい展示も始まり、いろいろな催し物を予定しております。皆様のご来館をお待ちしております。

はくび通信 発行部署：館内 情報センター

ご意見、ご感想をお寄せください。

TEL:098-941-1187 johobunnkanomori.jp

■沖縄県立博物館・美術館 ■■■

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

TEL:098-941-8200 FAX:098-941-2392

○開館時間：9:00~18:00(金・土は20:00まで)

※入館は開館30分前まで

○休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館)

<http://www.museums.pref.okinawa.jp>

12月イベントカレンダー

1	土	☆博物館バックヤードツアー 講師：仲里健(地学) 14:00~15:00 ☆「アジアをつなぐ-境界を生きる 女たち1984-2012」 キュレータートーク 講師：豊見山愛(当館学芸員) 15:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ
3	月	休館日
4	火	県民ギャラリー1 第5回フォトファンタジー展 12/4~12/9 県民ギャラリー2 版画工房コントロールボン展 12/4~12/9 県民ギャラリー3 12/4~12/9 「ふつう is BEST」
8	土	☆博物館文化講座 「港川フィッシャーの動物の起源 を考える」 講師：長谷川義和氏 14:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ
9	日	子供向け工作教室 「紙をさわろう！」 講師：児玉 美咲氏 10:00~12:00
10	月	休館日
11	火	県民ギャラリー2 第2回 ふるさとづくり図画コンクール 12/11~12/16 県民ギャラリー3 光輝く地球 上地直美ヒーリング アート展 12/11~12/16
14	金	県民ギャラリー1 第29回未来の科学の夢絵画展 12/14~12/16
15	土	☆博物館文化講座 「港川人研修からみた 東アジアの人類史」 講師：海部洋介氏 14:00~16:00 ☆「アジアをつなぐ-境界を生きる 女たち1984-2012」 関連催事 アーティスト/キュレータートーク 講師：調整中 15:00~16:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ
16	日	☆しまくとぅばプロジェクト 連続講座 第9回 「しまくとぅばを知る-はじめて の人のためのしまくとぅばの敬語 (3)」 講師：西岡敏氏 14:00~15:50
17	月	休館日
20	木	☆展示解説会 博物館常設展示室 講師：山崎真治(人類) 14:00~15:00 ☆美術館バックヤードツアー 講師：新里義和(当館学芸員) 14:00~15:00
22	土	☆美術館コレクションギャラリー3 鑑賞ツアー 「沖縄の美術がとらえた光と影」 16:00~17:00 ☆ふれあい体験室 ワークショップ
23	日	☆博物館学芸員講座 講師：國原謙(美術工芸) 14:00~16:00
25	火	休館日
29	土	年末休館
30	日	年末休館
31	月	年末休館

※日程が変更になる場合がございます。詳しくは当館ホームページのイベントカレンダーをご覧ください。

